

# 五葉松の粒は女性のがんに 著効を示し末期の卵巣・ 子宮体がんでも免疫力が向上

高橋弘憲 太陽クリニック院長

**五葉松の粒で食欲が戻って顔のやつれも解消し体が軽くなつて家事も平気になった**

私は宮崎県延岡市のべおかにある太陽クリニックという医療機関で院長をしています。

私の専門は血液学です。クリニックでは「新鮮血観察」という手法を使って、患者さんの血液を調べる場合があります。一人ひとりの患者さんの白血球や赤血球のようすを特殊な機器で観察しながら、病気を引き起こしている原因を分析し、治療に生かしています。

「新鮮血観察」という独自の治療を行っている私は、五葉松に含まれる独自の成分である「リグニン配糖体」に大きな魅力を感じています。

人間の頭ほどの大きさがある五葉松の松笠（松ぼっくり）には、一五〇個前後の種子が入っています。種子の「殻」にはリグニン配糖体が、殻の中にある「実」には、ピノレン酸という血液の浄化に役立つ脂肪酸が豊富に含まれています。殻と実に含まれる二つの有効成分を凝縮したのが、五葉松の粒です。

世界の極寒地に生息している

五葉松は、松の中でも特に強い生命力を持っているといわれています。

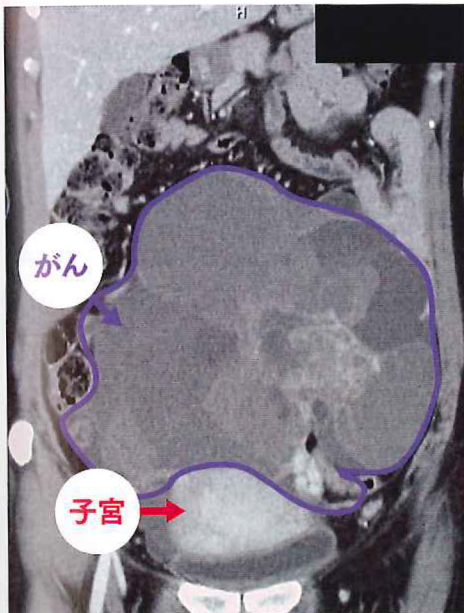
私自身は約一〇年前から、五葉松の粒を毎日飲んでいきます。クリニックでの診察に加え、ほかの病院で宿直勤務をするなど多忙な毎日を送っています。五葉松の粒を飲み始めてから一度も病気をしたことはなく、体調をくずしたこ

とさえありません。昭和大学医学部の研究によって抗がん作用が確かめられている五葉松の粒は、がんを撃退する効果が期待できます。私のクリニックに来院された患者さんの中で特に印象的な、女性のがん患者さんの例をご紹介します。

● 末期の卵巣がんの治療効果が高まり、体調が回復したAさん（七十代）

Aさんに末期の卵巣がんが見つかったのは、いまから五年前のことです。大腸への転移も確認されたAさんは、余命わずかと診断されました。抗がん剤に

## 五葉松の粒を飲んで 末期の子宮体がんの手術が 可能になったBさんの例



手術が不可能といわれるほど大きくなったBさんの子宮体がん。五葉松の粒を飲むことで、がんを摘出することができた



五葉松の粒を長年飲んでいる高橋医師が院長を務める、宮崎県延岡市の太陽クリニック





血液学の専門医である高橋医師は、血液と健康の関係に関する講演会を積極的に行っている

よる治療を受けていたAさんは、がんが大きくなったり小さくなったりといった不安定な状態をくり返していたそうです。  
もともと私と旧知の仲だったAさんに、私は五葉松の粒をすすめました。  
五葉松の粒を毎日九粒ずつ飲みはじめたから、Aさんの体調はみるみる改善していききました。それまでげっそりとやつれていた顔が、ふっくらしてきたのです。体を動かすのがらくになりました。食欲も回復したAさんは、家事ができるようになったと喜んでいました。毎年冬になると必ず引いていたカゼも、五葉松の粒を飲んでから、いっさい引かなくなりました。

くなくなったそうです。

## ハンドボール大にまでなった子宮体がんの手術が成功し元気な表情を取り戻した

### ●手術が不可能といわれた末期

の子宮体がんが手術で摘出できたBさん（四十代）

若いころに子宮内膜症を患っていたというBさんは、長い間、子宮の周辺に異常を感じていたものの、診察を受けずに過ごしていました。その後、不正出血やウミが混じったおりものが頻繁に出るようになったBさんは、ようやく婦人科を受診。診察の結果、末期の子宮体

がんとわかりました。Bさんのがんは、大腸や周辺のリンパ節に転移し、手術は不可能といわれていたのです。  
ほかの病院で撮影した画像を持って来られたBさんのがんは、ハンドボールほどもある、非常に大きなものでした（右

の写真参照）。がんの摘出は明らかに不可能で、余命はわずかと考えられました。そこで、抗がん剤の治療を受けることが決まっていたBさんの体力や免疫力を改善し、治療効果を高めるため、私は五葉松の粒を飲むことをすすめました。

五葉松の粒を一日五粒ずつ飲みはじめたBさんは、その後、抗がん剤の副作用が軽くなったと喜んでいました。何よりも驚いたのは、周囲に浸潤し手術不可能だった巨大な末期の子宮体がんの状態から、手術が可能になって元気を取り戻したことです。五葉松の粒によって全身の状態がよくなったことで、がん周囲の組織との境界が現れたことが手術に成功した要因です。その後、Bさんは転移したが

が取りきれなかったことや、家庭の事情による過剰なストレスによって、手術から三年後に亡くなられました。それでも、余命わずかと思われたBさんが三年以上も元気で過ごすことができましたのは、五葉松の粒によって免疫力が向上したからと考えられます。  
AさんやBさんの例を含めて、

五葉松の粒を飲んで女性特有のがんに効果が見られた患者さんは、ほかに多くいらっしゃいます。

五葉松の粒を飲むときは、できればカプセルを噛みつぶして、中身を口やのどに行き渡らせるようにすると、口からのウイルス感染を防ぐことが期待できます。ただし、五葉松の粒の味や食感に抵抗を感じたときは、粒ごと飲んでもかまいません。

五葉松の粒を毎日飲んでいて、私は、インフルエンザが流行したときにマスクをつけずに患者さんを診察していても、体調に問題が起りません。五葉松特有の働きによって免疫力が向上するだけでなく、抗ウイルス作用も発揮しているのではないかと考えています。



### たかはし・ひろのり

1958年、宮崎県生まれ。1983年、自治医科大学卒業後、県立病院や僻地勤務などをを経て、自治医科大学血液学教室、宮崎県立延岡病院に勤務。2001年、宮崎県延岡市に太陽クリニックを開院。幅広い臨床経験と「新鮮血観察」に基づく独自の医療活動を展開。内科専門医、血液専門医。主な著書に『カラー版・血液が語る真実』（論創社）、『強運なからだ』をつくる生き方』（総合法令出版）など。